



コモنز30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2016年9月30日付)

基準価額	9,812円
純資産総額	492百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除されています(後述の「コモنز30+しずぎんファンドの費用」をご覧ください)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

● 基準価額の騰落率

(2016年9月30日付)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
0.12%	11.26%	4.32%	2.12%	▲1.88%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモنز30ファンド(マザー)	91.7%	0.6%
静岡銀行株式	8.2%	▲0.6%
現金等・その他	0.1%	0.0%
構成銘柄	31社	0社

● 分配実績

第1期 (2015年12月18日)	0円
----------------------	----

● 運用状況(コモنز30マザーファンドについての記載となります)

◎9月のファンド月間リターンとその要因

9月のファンドの月間リターンは、0.67%の上昇となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「シスメックス(+11.54%)」、「セブン&アイHD(+9.08%)」、「ベネッセHD(+7.88%)」となりました。シスメックスは、工場見学会のなかで、主力機器の順調な生産が確認されるとともに、中長期戦略も評価されました。セブン&アイHDは、子会社のそごう・西武の一部店舗閉鎖報道により、不採算分野のリストラ進展がポジティブ視されました。ベネッセHDは、福原賢一氏から安達保氏への社長交代の発表により赤字脱却への期待が高まりました。

一方、下位3銘柄は、「ホンダ(▲8.91%)」、「旭化成(▲8.21%)」、「日東電工(▲7.90%)」となりました。ホンダは、1ドル101~100円台への円高進行が悪材料となりました。旭化成は、8月の請負住宅の月次受注が減少に転じたことや、リチウムイオン電池用セパレータの収益貢献が遅れそうなのが嫌気されました。日東電工は、円高や、偏向フィルム価格が供給過剰により下落していることがネガティブ視されました。

なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は-5.63%でした。

◎運用責任者メッセージ

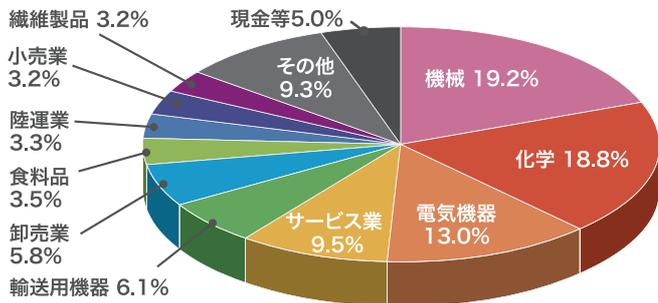
9月の内外金融市場は、①日米の金融政策、②米国大統領選挙の行方などが注目されました。結果として、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、長期的な金融緩和の環境を整え、米国は9月を据え置きとし年内の金利の引き上げを目指す判断となりました。また、米国大統領選挙は、いよいよ大接戦となっています。その他にもOPECの原油減産合意、欧州の銀行不安の再燃など材料が多い月となりました。

今後は、10月後半から始まる3月決算企業の第2四半期の決算発表と米国大統領選挙への注目が高まるものと考えています。当ファンドにおきましては、決算発表による企業業績の定点観測を行い日々の調査を積み重ねてまいります。引き続き、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

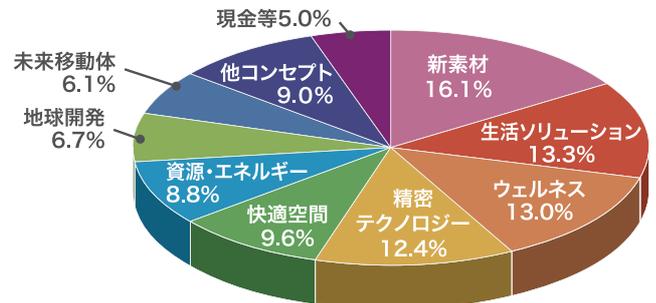
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比

(2016年9月30日付)



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

● 組入上位10銘柄 (静岡銀行株式を除く)

(2016年9月30日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要
2371	カカコム	サービス業	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける
6326	クボタ	機械	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与
6869	シスメックス	電気機器	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー
2802	味の素	食料品	「食・健康・いのち」の“UMAMI”で世界の食品トップ10を狙う
6367	ダイキン工業	機械	世界一快適な空気をつくる
9064	ヤマトHD	陸運業	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ
6988	日東電工	化学	柔軟変化し、持続成長グローバルエリアニッチトップ
4063	信越化学工業	化学	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性
3382	セブン&アイ・HD	小売業	変化への対応、基本の徹底という企業文化が浸透、さらなる高みを目指す
3407	旭化成	化学	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業転換を続ける伝統企業

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
 「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピックアップ!

9月2日～3日、シスメックスは、主力工場「アイスクエア」(兵庫県加古川市)の見学会を開催し、コモンズからは運用部の末山が参加しました。アイスクエアは、2014年6月に竣工した最新鋭の主力工場です。同社の業績を牽引する、血球計測、凝固、免疫などの高機能タイプの機器を中心に生産しています。建物は、3階が生産エリア、2階が出荷準備エリア、1階が資材受入・倉庫・製品出荷エリア、などとなっています。ここで生産する9割が190の国・地域に出荷されます。見学会では、将来的に高い成長が期待される手術支援ロボットの戦略についても説明がありました。2013年にロボットを手がける川崎重工業との折半で合弁会社を設立し、2019年の発売を目指します。手術支援ロボットが働くのは腹腔鏡手術領域とみられます。お腹に胃カメラのようなものを差し込み、お腹の中をモニターに映しながら行なう手術で、米国ではすでに手術支援ロボットが普及する分野です。合弁会社の売上高目標は、2030年度に1000億円です。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

● こどもトラスト

こんにちは。横山です。

大雨の9月22日秋分の日、田園調布の学童で元気いっぱいこどもトラストセミナー「かきくけコモンズ」を開催しました。

今回の『おかねの4つの使い方』は・使う・ためる・ふやす・寄付する、のそれぞれの意味と意義を伝える内容です。「ふやす」「寄付する」のパートは、こどもたちには馴染みのない投資や寄付の話で、はじめての言葉がたくさん出てくるので毎回こどもたちの頭の上は「ハテナ？」でいっぱいになります。しかし、かきくけコモンズはここであきらめません。投資と寄付の話をしっかりします。「ふやす」「寄付する」は、



こどもたちがこれからの長い人をお金と上手につきあっていくには大切な考え方だと思っているからです。もちろんこどもたちが「ためる(貯金箱でも銀行の預金でも)」を飛ばして「ふやす(つまり投資)」に没頭することは本望ではありません。しっかり「ためる」を身につけたうえで、「ふやす」「寄付する」にもチャレンジしてほしいと思っています。彼らが生きる社会は、貯金箱であれ銀行の預金であれ、ただためているだけでは十分な資産を作るのが難しい世の中です。また「寄付する」という行為は、自分だけが利するのではなく他の人に譲ること、応援して支えることの大切さを気づかせてくれます。「自分だけではなく他の人も」という価値観を持っているほうが、質を重視するこれからの世の中においては、人生の選択肢が広がるのではないかと私は考えています。

「おかね持ちは、ありがとう持ち」。かきくけコモンズが始まる前、こどもトラストセミナーにお招きした岡本和久先生にこの言葉を教えていただいて私自身とても感銘を受けました。それを今、私もこどもたちに伝えています。いつか彼らが人から感謝される仕事を持って、ありがとうとお金を稼いで、そのお金を4つの使い方で上手に使うようになると、きっとお金は今よりもっと社会の隅々まで滞りなく循環し、そしてよりよい社会を自分たちの手で作り出していけるようになると思います。投資や寄付については、一度聞いても「ハテナ？」のままなので、こどもトラストセミナーの他のシリーズで、馴染んでいってくれたらと思います。

※こどもトラストセミナーに5回参加するとピギーちゃんの貯金箱がもらえます！

マーケティング部 横山 玲子

● ちょっといい話

【アクティブ運用の役割】

コモンズ投信 伊井です。国内株式市場もここ数か月で下値不安が和らいできているように見えます。その理由のひとつに、2013年4月に導入された「量的・質的金融緩和」以降続く日本銀行の強い金融緩和政策によるETF(指数連動の上場投信)の買い入れがあります。日本銀行が購入しているETFは、東証一部株価指数や日経平均株価指数に連動するETFが中心です。その金額は徐々に増額され、現在は年間6兆円ペースになっています。アベノミクスの最初の2年間で海外投資家が大量に日本株を買い越した金額が15兆円ですので、この年間6兆円がいかに大きいかが分かります。

一方で、個別企業の調査に基づくアクティブ運用は、こうした指数連動型の運用とは異なります。それでは、アクティブ運用の本来の役割はなんのでしょうか。アクティブ運用に期待される役割は、①価格発見機能と②効率的な資金配分機能と言われます。①価格発見機能は、オープンな市場において、企業に対するさまざまに異なる投資見通しに基づいて形成された価格を発見機能とするものです。また、②効率的な資金配分機能は、将来成長が見込める優れた企業に資金供給することで事業拡大を支援し、そうでない企業には資金を供給せずに市場からの退出を促すような機能です。効率的な資金配分が行われれば健全な産業再編や企業の新陳代謝にもつながるはずです。

指数連動型の運用も効率的な運用スタイルとして重要ですが、上記のような機能はアクティブ運用により求められます。よい会社の価値が上がり、ダメな会社の価値が下がるという当たり前のことが市場を通じて行われることは市場の健全性を保つ意味でも大切です。こうして、よりよい経済や社会を作るためにもアクティブ運用に求められる期待は大きいはずです。

『コモンズ30+しずぎんファンド』は、長期的な視点に立ったアクティブ運用であり、長期的な経済の発展や地域経済への貢献にもつながるものと考えています。皆さまと一緒に、当該ファンドを育てていければ運用者としてもとても嬉しいです。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。 なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

● お申込みメモ

信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			